

XELOX + アバスチン療法

患者番号： _____ 氏名： _____
 対象： 転移性結腸・直腸癌で、PS： 0～1、脳転移がない症例
 薬液注入ルート； (ポート 末梢点滴静注 CVライン 内服)
 開始年月日； _____ 年 _____ 月 _____ 日
 投与間隔； 3週を1クール
 体格； 身長 _____ cm 体重 _____ kg 体表面積 _____ m²
 使用薬剤；

注射 ①アバスチン _____ mg (7.5mg/kg) 3週に1回
 ②オキサリプラチン _____ mg (130mg/m²) 3週に1回
 内服 ①ゼローダ _____ mg (C法：1000mg/m²/回)
 1日2回、2週投与1週休薬

手足症候群、抹消神経障害、骨髄抑制、消化器症状、下痢に注意

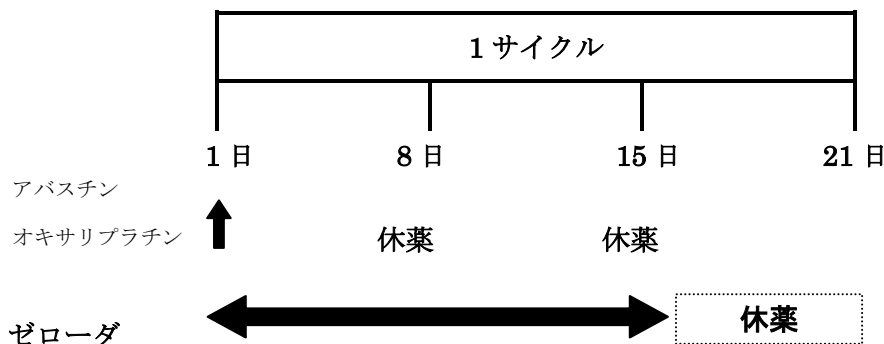
体表面積	初回投与量
1.36 m ² 未満	1200mg(4錠)/回
1.36 m ² 以上～1.66 m ² 未満	1500mg(5錠)/回
1.66 m ² 以上～1.96 m ² 未満	1800mg(6錠)/回
1.96 m ² 以上	2100mg(7錠)/回

オキサリプラチンは6コース目以降アレルギー症状に注意が必要です。アレルギー予防に前処置としてデキサート注 16.5mg、ファモチジン注 20mg、ベナ錠 50mgで効果があったという報告があります

制吐薬 グラニセトロン注+デキサート注 6.6mg

【処方が必要な内服薬】

ゼローダ (300) 錠 ×朝夕食後
 ピドキサール (10) 6錠 3×毎食後
 パスタロンクリーム 10% 1日5回以上



□HBs 抗原(+) → 消化器内科紹介

□HBs 抗原(-) → □HBs 抗体(-)and HBc 抗体(-)

□HBs 抗体(+)-and/or HBc 抗体(+)

□HBV-DNA 定量(-) → 3ヵ月毎 定量

□HBV-DNA 定量(+) → 消化器内科紹介

指示医師サイン _____